

北陸信越学生会の活動

1. はじめに

北陸信越支部学生会は新潟、富山、石川、福井、長野の10大学6高専で運営されている。他の地方同様に地理的に離れており、最北の新潟大学から最南の福井工業高等専門学校までの直線距離は330km程度ある。このような地理的状况のため日帰りでの行事開催は難しく、行事の開催機会が限られる環境ではあるが、活発な運営に取り組んでいる。ここでは2013年度から現在までの行事の活動状況について報告する。

2. 学生員卒業研究発表講演会の実施

第43回学生員卒業研究発表会が2014年3月7日(金)に富山大学において開催された。発表件数115件、参加登録者数は222名であった。2013年度は9室の会場で18セッションが執り行われた。卒業研究1年間の総まとめとして取り組んできた研究について学生が発表を行った。質疑応答では教員からの質問に窮する場面も見られたが、多くの学生は堂々と質疑に対応していた。また、学生同士の活発な討論も見られた。この発表会では、各セッションにおいて座長も学生員自身が行い、教員はアドバイザーとしてのみ参加する。進行役としての座長の作業にまだ慣れていない学生が多かったが、(教員のサポートを受ける場面も見られたが)滞りなく進行していた。このような経験が彼らを大きく成長させると期待したい。

学生員卒業研究発表講演会の後、学生会総会が行われた。今回も昨年に引き続き、運営委員が司会進行から、議事録作成までを学生のみで行った。学生会総会では学生賞(卒業研究発表の部)の選考が行われた。選考に関する作業も学生が中心となり、役割分担から採点表の入力、集計、そして選考までを行った。選考では同得点者の選考で議論する場面も見られ、積極的な運営姿勢が見られた。総会に引き続き、懇親会も開催された。懇親会は、卒業



図1 2014年度「メカライフの世界」展での製作風景(新潟工科大学)

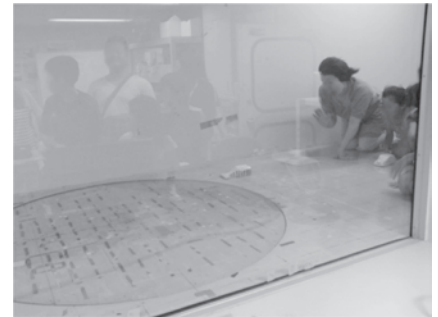


図2 2014年度「メカライフの世界」展での実験風景(新潟工科大学)

表1 北陸信越学生会 2013年度「メカライフの世界」展

学校名	開催日	テーマ名	参加者
福井工業高等専門学校	2013.5.11	メカを見てさわって学ぼう!	約450名
長野工業高等専門学校	2013.7.20	ロボットを間近で見よう、触れてみよう	約900名
長岡技術科学大学	2013.8.4	機械系研究室の紹介と実演	607名
金沢工業大学	2013.8.21~22	ペットボトルロケット教室	約50名
富山大学	2013.9.28	地震計を作って揺れを測ろう	約50名

表2 北陸信越学生会 2014年度「メカライフの世界」展

学校名	開催日(予定日)	テーマ名
新潟工科大学	2014.6.21~22	空力と流れのフォーラム
金沢大学	2014.8.7~8	鳥人間滑空機と機械工学
信州大学(繊維学部)	2014.10.18	メカライフの世界
富山高等専門学校	2014.11(日程未定)	ものづくりの魅力(仮)

研究発表講演会講演者および学生会運営委員、教員合計44名が参加し、学生賞(10件)の発表および受賞式も同時に開催された。ふだんはなかなか話をする機会のない他校の学生や教員との会話も弾み、総会ではなかなか自分の意見を言わない学生からも懇親会では、学生会への要望などの話を聞くことができた。懇親会が関係者の慰労だけでなく、重要な意見集約の場として機能していることが確認でき、有意義な時間を過ごすことができた。

3. 「メカライフの世界」展

2013年度の「メカライフの世界」展は表1に示す5校で実施された。どのテーマも機械工学に関連したテーマで子供たちを始め、一般の方々も楽しめる内容で、機械や機械工学への興味、関心を高められるような趣向を凝らした展示、実験が行われた。今年度の「メカライフの世界」展も始まっている。6月21日、22日には新潟工科大学において「空力と流れのフォーラム」というタイトルで実施され、32名の子供たちとその保護者が参加した。参加者は、長方形のウレタンフォームか

ら各自が「格好が良い」と思う「クルマ」の形状を慣れないスチロールカッターの扱いに四苦八苦しながらも思い思いに削り出していた(図1)。製作した「クルマ」はその後、大学内の大型風洞実験装置でその性能が試され、参加者から大きな歓声が上がっていた(図2)。なお、2014年度の「メカライフの世界」展は表2に示す内容で行われる。

4. 今後の活動予定

支部では2回の幹事校会が行われる。第1回幹事校会は7月12日(土)に予定されている(本稿執筆時は6月末日)。2013年度は土曜日に開催したことから21名の学生が参加し、その後の交流会もとても賑やかな会となった。今年度も2013年度のような活発な会としたい。これについての報告は別の機会に報告する。また、支部学生会では第44期卒業研究発表講演会が2015年3月6日に新潟工科大学で開催される。2013年度と同様、活発な討論が行われる発表会となることを期待したい。[新潟工科大学 大金一二]